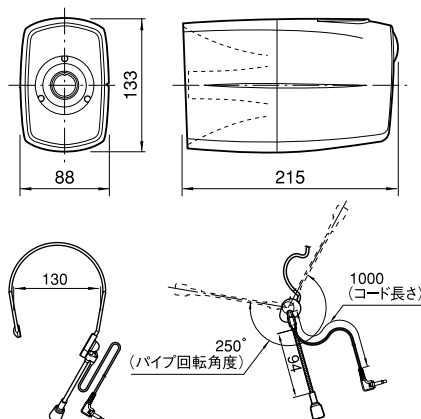


定格

| | |
|----------------|--|
| 出力 | 定格3W、最大4W |
| 通達距離 (JEITA) | 約160m (音声)、約 50m (ホイッスル小) / 約125m (ホイッスル大) |
| 使用乾電池 (電源) | R6P/R6PU (単三形) 4個 |
| 電池持続時間 (JEITA) | 約 7 時間 (音声)、約180分間 (ホイッスル小) / 約40分間 (ホイッスル大) |
| 総合周波数特性 | 700Hz~5kHz |
| 使用温度範囲 | -10℃ ~ +55℃ |
| ウエストベルト適合範囲 | ウエストサイズ 約45cm~約135cm |
| 外装 | ABS樹脂 マンセル 7.5B7/2 近似色 ライトブルーグレー |
| 外形寸法 | 幅88mm 高さ133mm 奥行215mm (ベルト、マイクを含まず) |
| 質量 | 本体:約 600g (電池別)、ヘッドセットマイク:約37g |
| 付属品 | 取扱説明書 (保証書付) 1、ヘッドセットマイク 1 |

外觀寸法図 (単位mm)



UNI-PEX

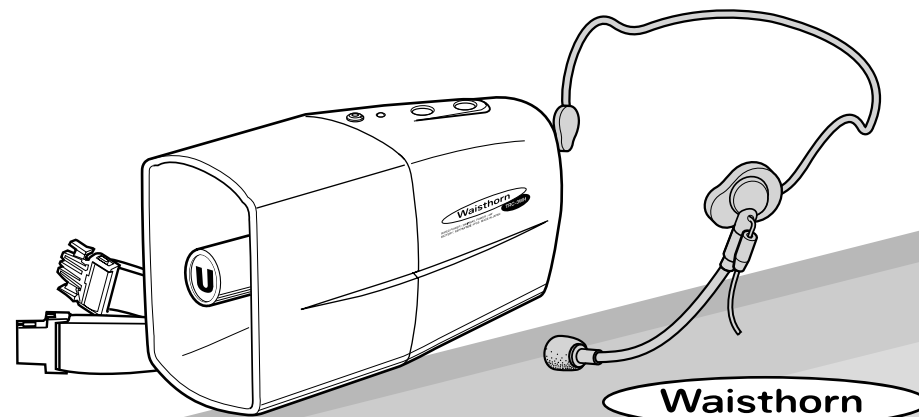
定格出力3W

ヘッドセットタイプメガホン

ホイッスル付

TRC-3WH

取扱説明書 (保証書付)



このたびは、ヘッドセットタイプメガホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがありましたら再びご覧ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例










○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。













●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる 煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。 |
|  | 耳の近くでは絶対に使用しない 大きな音で聴力障害などの原因となることがあります。テスト時は、メガホンを床に伏せておこなってください。 |
|  | 分解／改造はしない 火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。 |
|  | 異物を入れない 水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電池を取り出し、販売店などにご連絡ください。 |
|  | 屋外で使用するとき、雷が鳴り出したら、体から離す 落雷の原因となります。ただちに使用をやめ、体からメガホンを遠ざけてください。 |
|  | 乾電池は、充電しない 電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。 |

| | |
|---|---|
|  注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  | 不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |
|  | 異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。各部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 |
|  | トークボタンを押す前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 |
|  | 指定以外の電池は使用しない また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
|  | 電池は極性(+/-)を確かめ正しく入れる 電池を機器内に挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |

| | |
|---|---|
|  注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  | 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない 電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。 |
|  | 一ヵ月以上使用しないときは、電池を取り出ししておく 電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。 |
|  | 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時のおこなうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。 |

| |
|--|
| 使用上のご注意 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●雨天での使用、水滴のかかるような場所での使用は避けてください。 ●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。 ●電源が「入」のときホイッスルボタンを押しますとホイッスル音が最大になります。近くに人がいるときには、特にご注意ください。 ●使用後、トークボタンを押したままにしますと電池の消耗を早めます。使用後は必ず電源を「切」にしてください。 ●マイクコードの断線など故障の原因になりますので、下記の注意事項を必ずお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> ・マイクプラグを抜くときはコードを引っ張らない。必ずプラグを持って抜く。 ・マイクプラグのコード引出し部に強い力をかけるような取り扱いをしない。 ・本機を装着時に、マイクコードを引っ掛けない。 |

| |
|---|
| お手入れについて |
| <ul style="list-style-type: none"> ●揮発性(ベンジン、シンナーなど)のものをかけたり、使用したりしないでください。ケース及びウエストベルトが変形したり、変色したりすることがあります。 ●日常のお手入れ 乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんを使用される場合は、その注意書に従ってください。 ●汚れがひどいとき 台所用洗剤をうすめ、柔らかい布にしみこませてよくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。 |

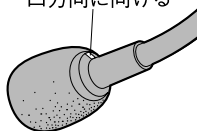
各部の名称と説明

マイクロホン (単一指向性)

マイクロホンの白線部分が口方向に向くように、フレキシブルパイプとパイプ回転部で角度を調節してください。

注) マイクロホンの方向が合っていないと、音量不足の原因になります。

この白線部分を口方向に向ける



保護パッド

ヘッドセットマイク(付属)

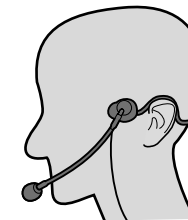
フレキシブルパイプ

パイプ回転部

電源表示灯(赤)

ヘッドバンド

図のように頭部に装着してください。



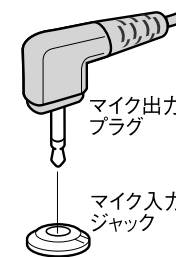
マイクコード (長さ 約 1m)

マイク出力プラグ

メガホン本体のマイク入力ジャックに接続してください。

マイク入力ジャック

付属のヘッドセットマイクを接続してください。その他の機器は接続しないでください。



ホイッスルボタン(緑)

このボタンを押しますとホイッスル音が鳴ります。指を離せば切れます。ホイッスル音の音量は音量調節つまみに関係なく一定に鳴り続けます。また電源が「入」のときに押しますとホイッスル音の音量が大きくなります。しかしその時マイクからの拡声はできません。

トークボタン(黄)

このボタンを押しますと電源が入り拡声ができます。もう一度押しすと電源が切れます。トークボタンを押す前には必ず音量調節つまみを最小にしておいてください。拡声時以外は電源を「切」にし、電池の消耗を防いでください。

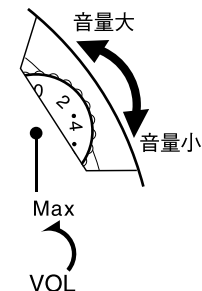
電池ケース(ふた)

乾電池(R6P/(R6PU)4個を極性表示に従って入れてください。(6頁の電池の入れ方をご覧ください。)

警告 耳の近くでは絶対に使用しないでください。ホイッスル音やハウリング音で聴力障害などの原因になることがあります。

音量調節つまみ

ハウリング(キーンという音)を起こさない範囲で音量を調節してください。トークボタンを押す前には必ず音量調節つまみを最小(0位置)にしておいてください。



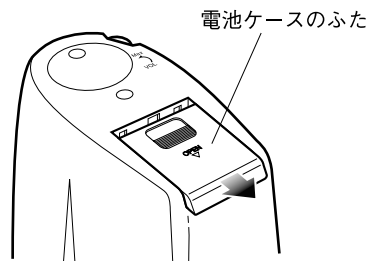
ウエストベルト

本体を左腰部に装着してください。(7頁のウエストベルトについての説明をご覧ください。)

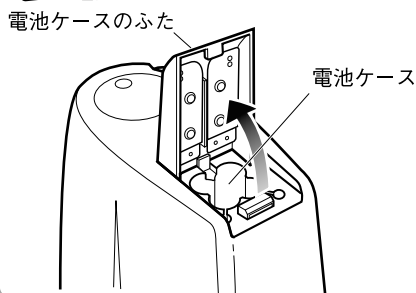
電池の入れかた

- 乾電池(R6P/R6PU)を挿入、または交換されるときは次の説明に従っておこなってください。

1 電池ケースのふたを矢印の方向へスライドさせる



2 電池ケースのふたをあける



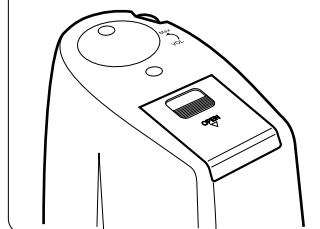
3 電池を極性表示にあわせて入れ、もどおりふたを閉める

乾電池(R6P/R6PU)4本を電池挿入口付近とふたの内側に表示されている極性表示にあわせて入れる



電池ケースのふた

電池を挿入後、もどおり電池ケースのふたを閉めてください。



極性表示

電池挿入口



警告

電池の挿入は、表示の極性に従い正しく入れる

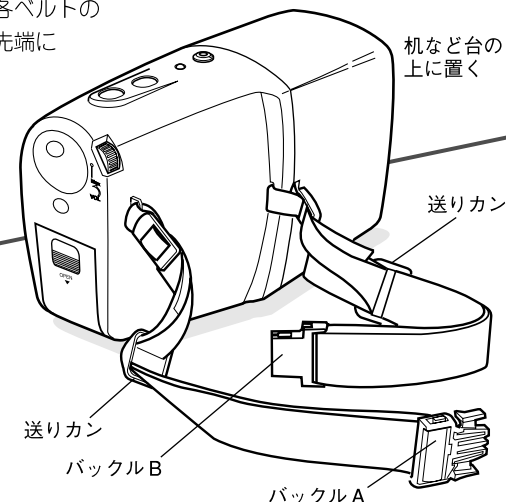
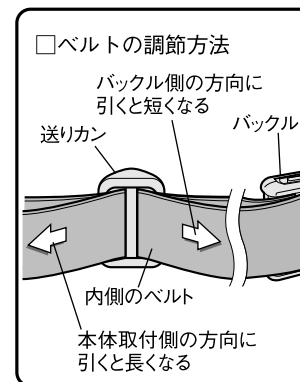
- ・誤挿入による液漏れや破裂だけがなす場合があります。
- ・特にアルカリ乾電池をご使用の場合は液漏れにより、化学やけどの原因となることがあります。

ウエストベルトについて

- 本機は左腰部分に装着して使用します。ご使用前には必ずウエストベルトの長さを使用する人の胴囲に適した長さに調節してください。
- ベルトの長さの調節は、本機を落とす恐れがありますので、メガホン本体を机などの上に置いておこなってください。

1 ベルトの長さを調節する

メガホン本体を左腰部分にあてベルトの調節する長さを調べてください。送りカン内側のベルトを移動させ各ベルトの長さを調節し、バックルをベルト先端に移動させてください。(下図参照)



2 メガホン本体を装着する

両ベルトをしっかり持ってメガホン本体を左腰位置にあて、バックルAをバックルBに差し込んでください。

装着時のご注意

- メガホン本体を落下させないように両ベルトをしっかり持って装着してください。
- 必ず両バックルの結合状態を確認してから、手を離してください。

ベルトの外しかた

- バックルAのロック解除レバーを両方とも押さえながらバックルBより引き抜いてください。

ご注意

- メガホン本体を落下させないように両バックル(ベルト)をしっかり持って外してください。

